

お茶の水女子大学大学院『人間文化創成科学論叢』第19巻 投稿申込みから刊行までの流れ

2016年5月 『人間文化創成科学論叢』第19巻 編集委員会

日程	項目	内容	提出先・受渡場所※1	留意事項
5月第1回 編集委員会 後～7月中 旬の締切日 まで	募集告知	投稿の申込み期間	ronso@cc.ocha.ac.jp にメールにて申込み	<ul style="list-style-type: none"> ● 締切日の17時までとし、17時以降はいかなる事情があっても原則不可。 ● 編集委員会より、受付確認のメールを送付する。ただし、受付期間中、週1回程度とりまとめて処理するため、申込から多少時間があく場合がある。
8月末	投稿締め切りの告知	専攻会議で教員に対し、投稿締め切りの告知と学内審査の依頼		
9月1日、 2日	投稿締切	投稿論文の提出 (提出物は執筆要領を参照)	学生センター棟1階 学務課（ファカルティ支援 担当）窓口へ直接提出または 郵送の事 ※取り敢えずのメール添付は 認めない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 投稿届には学内審査員のサインまたは捺印が必要。教員の調査旅行や出張の多い時期のため、早めにもらっておくこと。 ● 海外にいる場合は、郵便事情を考慮して早めに送付すること。 ● 学内審査員は指導教員と同一で構わないが、サバティカルや休職中の教員は、審査員を依頼できない。その場合、代わりに学内審査員となる本学教員に依頼すること。 (再審査が学内審査となった場合があるので、後期にサバティカルを予定している場合も注意)
9月3日か ら9月30 日(学内審 査締切)	学内審査	学内審査員による審査	学生センター棟1階 学務課（ファカルティ支援担 当） ※学内審査員が提出する	<ul style="list-style-type: none"> ● 学内審査後、「採択」の場合は直ちに外部審査に出すため、学内審査期間中に学内審査員、または指導教員の指導を受け、学内審査結果の提出日には修正した論文（外部審査員に送付できる状態のもの）を提出してもらうこと。 (※投稿者は自らも学内審査員または指導教員に働きかけること) ● 採択の場合は、学内審査員は、外部審査員を指名し、審査することへの内諾を得ておく。
10月初旬	学内審査結果通知	『論叢』編集委員会より投稿者へ 審査結果をメールで通知		<ul style="list-style-type: none"> ● 以降の項目は、学内審査の結果が「採択」の場合
10月初旬	外部審査依頼	『論叢』編集委員会より外部査読 者へ原稿を送付		
11月初旬 ～中旬	外部審査結果通達	『論叢』編集委員会より投稿者お よび学内審査員へ審査結果をメ ールで通知		<ul style="list-style-type: none"> ● 審査結果および査読済み論文を添付する。(外部査読者の指示により論文は添付のない場合もある)

日程	項目	内容	提出先・受渡場所※1	留意事項
11月末	最終原稿締切 (採択)	外部審査結果が「採択」の場合、 最終原稿を提出	学生センター棟 1 階 学務課 (ファカルティ支援担当) 窓口 へ直接提出または郵送の事	● 最終原稿の様式については、外部審査結果通知時に配布する。
12月初旬	修正原稿締切 (条件付き採択)	外部審査結果が「条件付き採択」 の場合、修正済みの原稿を提出	学生センター棟 1 階 学務課 (ファカルティ支援担当) 窓口 へ直接提出または郵送の事	● 外部審査結果の指摘を踏まえたうえで修正した原稿を提出する。 (過去に指摘事項への対応なく外部審査員に再審査に出し、不採択になった例がある。 指摘事項が多い場合は、別紙で変更・修正点や、あえて修正しない理由などを補足する こと。)
12月初旬 ～中旬	条件付採択分 再審査	『論叢』編集委員会より、学内便 または郵送にて原稿を発送		● 外部審査員が再査読を希望した場合は、外部審査員に発送する。 ● 再審査結果を編集委員会に委任した場合は、学内審査員に学内便で発送する。
12月中旬 ～下旬	再審査結果通達	『論叢』編集委員会より投稿者・ 学内審査員(外部審査の場合)へ審 査結果をメールで通知		● 審査結果および査読済み論文を添付する。(査読者の指示により論文は添付のない場 合もある)
1月初旬	最終原稿締切 (条件付き採択)	再審査結果が 「採択」の場合	学生センター棟 1 階 学務課 (ファカルティ支援担当) 窓口 へ直接提出または郵送の事	● 最終原稿の様式については、外部審査結果通知時に配布する。
1月初旬～ 中旬	入校	『論叢』編集委員会より印刷会社 に入校		● 入校後、初校チェックの日程についてメールで通知するため、登録したメールをチェ ックすること。
1月下旬～ 2月初旬	初校	初校チェック	学生センター棟 1 階 学務課 (ファカルティ支援担当) 窓口 へ直接提出または郵送の事	● 初校と入校原稿を照合し、修正があれば初校に書き込む。 ● 原則、誤字・脱字、訂正事項のみとし、内容変更は避けること。
2月中旬～ 下旬	再校	再校チェック	学生センター棟 1 階 学務課 (ファカルティ支援担当) 窓口 へ直接提出または郵送の事	● 再校と初校を照合し、修正があれば再校に書き込む。 ● 原則、誤字・脱字、訂正事項のみとし、内容変更は避けること。
3月下旬～ 4月初旬	刊行・配布	『論叢』および抜き刷り配布	附属図書館 2 階カウンター で受け取る事	印刷された『論叢』各 1 部 (共著がいる場合はその部数) を図書館カウンターにて配布 する。
4月初旬以 降	TeaPot 掲載	TeaPot へ PDF 化された論文が掲 載		● 著作権等の問題で図表等を掲載されたくない場合は、申し出ること。

※問合せは必ず『人間文化創成科学論叢』編集委員会 (ronso@cc.ocha.ac.jp) 宛にメールで行うこと。

「学務課 (ファカルティ支援担当)」及び「附属図書館 2 階カウンター」は、論文や冊子の提出及び受渡場所であり、審査・編集・刊行に関する問合せには応じられないので注意する事。